

脱温暖化推進員フォーラム 2005

活動や課題・情報などを共有 分科会でこれからの活動のあり方を考える



環境にも優しく、ライフスタイルの質も豊かにするためのヒントを学ぶ

2月7日にエールビルA館6階RCC文化センター(広島市)にて、「脱温暖化推進員フォーラム2005」を開催しました。

このフォーラムは、互いの活動や課題・情報などの共有および交流を通じて、これからの活動のあり方を一緒に考え、実践活動の輪を広めていくことを目的に開催するものです。地球温暖化防止活動推進員や地球温暖化対策地域協議会など、県内各地で温暖化防止活動に取り組む24団体69人が参加しました。

午前中は、環境省デコ活応援隊の金井大樹さんに、『デコ活』との連携によるライフスタイル変革の可能性についてと題して、生活がより豊かに、より自分らしく快適・健康でいられる取り組みが重要であることなど、これからの活動の



分科会②体験したプログラムの感想を述べる

分科会②体験したプログラムの感想を述べる

午後からは3つの分科会を実施しました。

①アイディア発想ワークショップ

東芝データ株式会社「風水害24」

かんきょう会議浮城の安藤真さん、安藤志保さんがファシリテーターとなり、風水害発生時の適切な判断や行動するための知識、行動指針を、カードゲームで楽しく学びました。

③教材ツール体験

TEAMMATEひろしま学習・交流会で作成したツールや、当センターで整備している貸出グッズを体験しました。

また、今回は食品ロス削減を目的に、初めてフードドライブを実

分科会③仲間が作った教材を学ぶ

分科会③仲間が作った教材を学ぶ

TEAMMATEひろしま学習・交流会 住宅断熱DIY研修を開催

内窓や遮熱材の設置を体験

1月23日に、TEAMMATEひろしま学習・交流会(第3回)「住宅断熱DIY」を開催し、7団体16人と、うちエコ診断士5人が参加しました。

今回の学習・交流会は、住まいに関するエネルギー使用量の削減を目的に、ホームセンターで取り扱いやすい材料を

使って、自分でDIYできる取り組みについて学習しました。

講演では、DIYアドバイザー関西の坂口光正さん、高田篤さんを講師にお迎えして、DIYアドバイザー関西が実施した「省エネやCO₂削減につながるDIYの事例紹介」を聴講しました。住まいの中で、熱の出入りが

一番大きい窓に断熱対策をすることによって、冬は室内の暖かい空気が外に逃げにくく、夏は室外の暑い空気が中に入りにくくなり、1年を通して快適な暮らしができることがわかりました。

実習では、手軽な取り組みで効果を得る実例として、簡易内窓キット組み立て、窓遮

断熱シート貼り付け、断熱パネル取り付けを講師の先生方の指導の下で行いました。2つの窓の間や窓とシート、パネルの間に空気の層ができることで、熱の移動を抑えられることがわかりました。

また、ポリカーボネート中空板やプラスチックダンボールの性能を説明してもらい、実際に触りな

からそれらの違いを体験することができました。

参加者からは、「DIYで内窓ができることを初めて知った」「だいたいの費用や実践の仕方が分かって良かった」「明日ホームセン

ターに行く予定です」などの感想がありました。

今回の学びや体験を、各協議会で実施する住宅断熱DIYに繋げる活動に活かしてもらいたいと思います。

(脱温暖化センターひろしま)

省エネやCO₂削減につながる事例紹介(上)、簡易内窓づくりを体験(下)



分科会③仲間が作った教材を学ぶ

分科会③仲間が作った教材を学ぶ

分科会③仲間が作った教材を学ぶ

地球温暖化防止活動推進員誕生 学生参加が増加傾向

令和6年12月14日、令和6年度新規推進員養成研修を受講した11団体28人に、広島県から「地球温暖化防止活動推進員」が委嘱されました。

近年、学生の研修会への参加が多く、今年度は呉工業高等専門学校の学生が研修に参加し、自らが企画した事業を実践しました。若い世代への啓発だけでなく、就職活動における自己PRとして、また社会人になった時にこの経験を活かしてもらいたいと思います。

28人の推進員には、地域における温暖化防止のための情報提供や普及啓発活動、地球温暖化対策地域協議会のマネージメントなど、今後の活躍を期待します。

【新規推進員が企画・実践した事業テーマと主な内容】

①ごみの分別・減量

くれ環境市民の会、エコINNくろせ、か



新たに誕生した28名の推進員

んきょう会議浮城、呉工業高等専門学校、一般社団法人ループ・ラボひろしまが取り組みました。ごみの分別について考える学習活動や、生ゴミの排出量を減らすための堆肥化の普及啓発、各家庭での雑誌類の処分方法に関する調査などを行いました。

②食品ロスの削減

大崎上島けんこう文化の島づくり協議会が取り組みました。町内の高校生と一緒に、食品ロス低減や地産地消を意識した商品を考案しました。

③普及啓発

脱温暖化ネットおんど、布野の食と脱温暖化を考える会、坂町公衆衛生推進協議会、有限会社藤岡保険コンサルタント、一般社団法人地域QOL研究所が取り組みました。海辺教室やワークショップ、イベントでの展示やノベルティの配布を通じて、環境の大切さを伝えました。

(脱温暖化センターひろしま)